



校訓
自律・敬愛・剛健

発行編集
鹿児島県立川内高等学校
可愛山同窓会
所在地 〒895-0061
鹿児島県薩摩川内市御陵下町 6-3
同窓会事務局
電話 (0996) 20-2031
学 校
電話 (0996) 23-7274

可愛山同窓会報



令和5年度入学生から、数十年ぶりに新しい制服が採用されました。
生徒会や保護者の意見も取り入れたものです。
スラックス・スカートのどちらも選べ、性別による制服の指定を廃止しました。
ポタンダウンシャツの色は3色(白・水色・ピンク)あり、ネクタイ・リボンも選べます。



可愛山同窓会の皆様へ

可愛山同窓会会長

下 麥 昭一

(川高30期)



令和4年8月にございました本部同窓会総会におきまして、中俣さんより会長を引き受けいたしました。川高30期の下麥と申します。

全国各地の可愛山同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。本来ならば、各地にある同窓会にお伺いしてご挨拶しなければいけませんでしたが、コロナ禍という状況の中でのことではございませんでした。

昨年の本部同窓会総会ですが、その前年までの数年間は同窓会総会ができず、書面決議という形をとらせていただいております。昨年は各期幹事の方々のご努力もありまして、各期4名までで鹿児島県内に在居の方々のみという制限をかけて、コロナの状況も心配だったので何とかが開催する事が出来ました。今年同窓会総会は、コロナ前の形に戻して開催したいと考えておりますので、その際はご出席頂きますようお願い申し上げます。

また、恒例の川内高校OBゴルフ大会ですが昨年は中止でしたが、今年には久々に四月二十九日に薩摩川内市のグリーンヒルカントリークラブで六十三組の参加で開催されました。同期の方々とラウンドされて、久々に会われる方もおり、和気あいあい

と楽しまれていたようでした。

今年の卒業式では2年生も出席できまして、恒例の卒業五十年・二十五年の方々の卒業式参列には卒業五十年の十四名が出席されました。また、入退場時でのマスクの自由化、初めての校歌斉唱など、少しずつではありますがコロナ前の形に戻っているような状況です。そうした中で、今年の創立記念日講演会の講師は霧島食育研究会を主宰されております千葉しのぶ様(川高34期)で、テーマは「食べものところ」で食で伝える命と生きていく。毎日の食に対する考え方や、地域にある食べ物のすばらしさなどを、視点を交えて話されていて、とても興味深いものでした。これから社会に出て、一人暮らしをする生徒さん方には参考になるものがあつたと思えます。

可愛山同窓会は、本部以外に東京・関西・福岡・熊本・宮崎・阿久根・鹿児島・鹿児島県庁の8か所で運営しております。この同窓会報や卒業式の名簿巻末に、各支部の所在地・連絡先・組織などを紹介しております。皆様、最寄りの同窓会にぜひ参加して「楽しく集う誇り高き同窓会」を楽しんでいただきたいと思います。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い致します。





新しい学校づくり
鹿児島県立川内高等学校 校長
荒田 修

可愛山同窓会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動に多大なる御支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度も素直で頑張り屋の生徒たちと献身的な教職員の方により、充実した教育活動を展開することができました。この場をお借りして、昨年度の状況を御報告させていただきます。

授業の面では、生徒たちが目標達成のために必要な学習に自分で計画を立てて取り組む「自ら学ぶ力」を育成するため、1学期末をもって「朝課外」を廃止いたしました。そして放課後等を活用した個別指導の充実やICT教材の活用にも努めました。改善すべき点もありますが、多くの生徒が自分のやるべきことに積極的に取り組んでくれ、今年三月卒業の第75期生も、国立大学をはじめ、私立大学や専門学校、公務員、民間企業等、自分の目標とする進路を達成しました。

部活動では、それぞれの部において、自分達の目標に向けて毎日熱心に、かつ楽しく活動しています。その活動の成果として、漕艇、男子バスケットボール、卓球、陸上、水泳、剣道、

吹奏楽の各々が全国大会、九州大会に出場、放送部も全国大会の出場権を獲得しました。文芸部と美術部は九州総文祭に参加、文芸部は今年度の全国総文祭への参加も決めています。その他多くの部が活躍しており、まさに「文・武で躍動」を体現しています。校長として大変頼もしく、誇らしく思います。

昨年度もコロナ禍の中、本校においては、基本的な感染予防対策をとった上で、通常より短縮・削減した形ではあったものの、文化祭・体育祭を実施、2年生の修学旅行は、計画通り、関東方面（スキー、デイズニールランド）に行くことができました。ただ、卒業式に関しては、感染リスク等慎重に検討した結果、今年も卒業後50年を迎えられた先輩方の出席を御遠慮いただくことになりました。楽しみにしておられた皆様方には大変申し訳なく思っております。

令和五年度は、四月六日に始業式、七日に入学式を実施し、全校生徒七六八名でスタートいたしました。入学式では、今年度から新しくなった制服に身を包んだ新入生二八〇人を迎え入れました。来賓として同窓会からも御臨席を賜り、下委会長には御祝辞をいただきました。一つ

一つの出会いを大切に、感謝の気持ち忘れず、とどまることなく歩んでくださいとお言葉に、新入生も三年後を見据えて決意を新たにしたいのではないかと思います。今年度も全校生徒が自分の目標・夢の実現のために「文武両道」に全力を尽くして

また、今年度はコロナへの対応も大きく変更になりました。感染防止対策は取りつつも、コロナ禍の三年間とは違った形の学校生活を送れるものと期待しております。ただし、コロナ前の形に戻るのではなく、コロナを経て、新たに見えてきた課題に対応できるような体制づくり、学校づくりを行っていかねばならないと考えており、始業式で生徒たちにも、自分たちでその課題を解決するために何ができるかしっかりと考え、行動してほしい旨、話をしたところです。

本校生徒たちが、これまで以上に、学業だけでなく、部活動や学校行事、地域活動など様々な活動に意欲的に取り組み、健康やかに成長するよう心から願うとともに、精一杯の支援をしてまいりたいと思っております。



可愛山同窓会
会長を辞して
可愛山同窓会 前会長
中俣 知大
(川高20期)

平成二十八年に山田島会長から引き継ぎ、六年間、同窓会長を務めさせていただきました。後半の三年間はコロナ禍のため入学式・卒業式・体育祭などあらゆる行事が変則で、この春卒業した生徒たちの高校生活はまさにコロナ禍にはまっていた。また、昨年からウクライナ問題で世界中が不安に晒されている複合禍です。こうした中でも生徒たちは高校生らしく、勉強やクラブ活動に元気で動いています。

「平常」を知らない生徒たちにとってはこの現状が乗り越えるべき「平常」であることに、遅しさを感ずる。一方で、伝統の卒業五十周年での卒業式に、十分な参加ができなかった22・23・24・25期生は気の毒でした。

コロナ禍以前は同窓会長として各地の支部同窓会（東京・関西・福岡・熊本・阿久根・鹿児島・鹿児島県庁）に出席しましたが、どの支部でも感じたのは、卒業生四万人にも達する北薩の雄・川内高校の気概と誇りと同窓会の結束の強さでした。

セラ・原子力発電所などの最先端技術を育む町でもあります。こうした新旧文化の織りなす環境にあり、在校生たちは自律・敬愛・剛健の校訓と文武両道の方針のもとに、豊かな人格を形成していくものと思われま

この同窓会報の裏表紙には全国同窓会支部の情報を載せており、日本全国に散る新しい後輩同窓生たちに、最寄りの同窓会に参加できることを報せています。各支部での歓迎とご支援をよろしくお願いたします。

昨年八月の総会（これも人数制限）で次期会長を下野昭一氏（三十期）に引き継ぎました。後輩たちの成長と活躍を見守りながら、同窓会の今後のますますの充実を期します。



創立記念日講演会

演題

「食べものとうつろ」～食で伝える命と想い～

NPO法人霧島食育研究会

理事長 千葉しのぶ

(川高34期)



私が理事長を務める霧島食育研究会の目的は「食を大切にす文化を創る」ことです。現在霧島山麓で米と大豆の「植え方から食べ方まで」の食農教育と霧島市内外で郷土料理講座を実施し食文化継承に取り組んでいます。

在学時の川内高校

私は、薩摩川内市宮内町で生まれ、亀山小学校、川内北中で学び、川内高校に入学しました。当時は1学年10クラス400名、学内には1200名の生徒がおり、入学当初は上級生が大人びており憧れをもってまぶしく見上げていました。生徒と教員には礼節を保った適度な距離感があり、生徒は自主性と責任をもち、学業やクラブ活動などに勤しんでいたように思います。

管理栄養士として

霧島食育研究会の設立

卒業後は、鹿児島女子短期大学で栄養士の資格をとり、鹿児島大学医学部付属病院での研修生活を経て、霧島の総合病院に勤めたのが、現在の霧島での活動のきっかけです。のちに管理栄養士資格を取得し、25歳のころよりフリーの管理栄養士として、各地で栄養教室や料理教室を担当しております。

その際、「食べ物は命の根源」と言っているが、田んぼで米を作ることすら体験したことのない、命の現場を知らないジレンマが心の中にありました。まな板のこちら側ではなく、向こう側の「土から食べものを学ぶ」ことを目指し、40歳の時、仲間を募り霧島食育研究会（以下研究会）を作り、食農教育に取り組み始めました。同時に、地域の食材を使い、無駄なく美味しく作る知恵と技が詰まった郷土料理の伝承活動も実施し始めました。

学業と業務

44歳で、愛媛大学大学院農学

研究科へ社会人入学し、鹿児島在住のまま研究会の活動と、集中講義などを受けつつ学業に取り組む日々が続きました。その後、鹿児島女子短期大学での教員生活の際も、常に研究会の活動を兼務し継続してきました。

現在は、短大を退職し、千葉しのぶ鹿児島食文化スタジオを設立し個人の仕事と、15名のスタッフと共に研究会の活動を運営しています。

地域全体で食の大切さを伝える

さて、今の食の問題点を、私は二点に絞って考えています。一点目は「食の大切さを子どもに伝えていない」ということ、二つ目は「食べものを作る人（農家・漁家の方など）が急激に少なくなっている」ということです。「食の大切さを子どもに伝えていない」ということは、親世代への「ご飯を作るのを面倒だ」と感じていますか、という旧霧島町で行われたアンケートにその一端を見ることができました。85%の親世代が、少なくとも面倒だと答えたのです。大切な我が子であることは間違いないのですが、その大切な我が子の食事の準備をすることに、多くのストレスを感じていることがわかりました。それゆえに地域全体で食の大切さを伝えていく取り組みが重要だということにも確信を持ちました。

身近な食材を食べ続ける

また、「食べものを作る人（農家・漁家など）が急激に少なくなる」という問題は、もし日本が100人の村だったらという例えでお話すると、100人の日本村のうち農家や漁家の方は、たったの一人です（令和2年日本総人口12600万人に対し基幹的農業従事者は136万人）。現在、日本の食料自給率は38%と非常に低いのですが、その38%を100人の中の一人だけが支えているという現状を、自分事として理解する必要があります。「地産地消」の大切さは、自分の住む地域の米や野菜を買い求めることで、将来の自分や子どもや孫の食べるものを日本に残すことができるといえることです。つまり次の世代の暮らしを支えることにもつながるのです。

自分が食べるものを自分で作る

高校生の皆さんにお伝えしたいことは二つです。一つ目は「自分が食べるものは自分で作る」つまり「自炊」です。男子、女子の性別は全く関係ありません。できるだけ地元産の食材を選び、自分の食事を自らが整えるという暮らし方は、自分の命と次の世代の命を守ることにあります。料理だって、あれこれ作れなくてもいいのです。ご飯、味噌汁に、野菜炒めなど簡単なおかずを2品くらい、それだけで十分です。

食は大切に育てられた思い出を残すことができる

そして「食は、大切に育てられた思い出を子どもの中に残すことができる」ことをそっと心のどこかに置き留めてもらいたいです。親・祖父母など自分を守り育ててくれる人が、自分のことを思い心を込めて作った食は、互いに離れ暮らして、いざ死という形で別れたあとも、ずっと心の中に残り、その人の人生を支えてくれるように思うのです。

命を面倒だと 言わないでほしい

いつも、講演の最後にこのようにお願しています。若い世代の方には、「子どもの前で絶



輝け大学一年生



熊本大学
工学部機械理工学科
西屋敷 佳菜

私はこの春、熊本大学工学部機械理工学科に合格しました。合格できたのは、家族や先生方、友人の支えがあったからだと思えます。また、二年間私を川内高校奨学生として支援してくださった可愛山同窓会の皆様にも心から感謝しています。この奨学金のおかげで、参考書や問題集を購入するなど、日々の勉学へ経済的に心配することなく取り組むことができ、受験の費用に

私はこの春、広島大学文学部に合格することができました。合格することができたのは家族や先生方、そして仲間がいたことが大きかったと思います。また一年間金銭的に支援してくださった可愛山同窓会の皆様にも心から感謝しております。



広島大学
文学部
久富木 香月

川内高校での3年間を振り返るとこれまでの人生の中でも充実した時間を過ごした。教室で友達と会話したり、部活では仲間と切磋琢磨しながら作品を作り上げられたことは一生の思い出となると思います。また、新型コロナウイルスの感染拡大を受け制限が多かった学校生活でしたが、先生方のご尽力のおかげで例年通り行えた行事もあり感謝の気持ちでいっぱいです。私は3年間将来のことを何も考えずに過ごしていたので3年生になり進路を決定する必要ができたときに色々悩みました。だから今私と同じように将来の展望がはっきりしていない在校生の皆さんには日頃から少しでも自分の興味がある

分野や職業について調べることをおすすめします。具体的な目標があることは受験勉強のモチベーションに繋がりますし、仮に調べていた分野に進学することになったとしても知識があることは進路選択のための力になると思います。また、明確な目標がなかなか決まらなくても日頃から少しの努力を続けることはとても重要だと思います。私は一年生の4月辺りに担任の先生が高校生になったからみんな勉強するぞという言葉を真に受けてどんなにめんどくさくても2時間は勉強しようと思ったのですが、このお陰で3年生に

どこか、これまでより数点も下がってしまい、かなりショックで不安な毎日でした。その後の模試でも成績は思うように伸びませんでした。しかし、周りには分からない問題があれば一緒に考えてくれる友人や、いつでも明るく質問に答えてくださる教科担任の先生方の支えがあり、最後まで頑張ることができました。特に、三年間担任をしてくださった勝田先生が、共通テスト百三十二日前から毎朝保護者に応援メールを送ってくれたり、その言葉に何度も励まされました。受験生という期間は、今までの人生の中で一番大変

おっしゃった「身近な食べ物を買って自炊をする」という言葉が1番印象に残っています。今は料理の作り方をネットで見なくてもネットを見れば簡単に作れます。それでも、コンビニなどで買って済ませてしまっている今日、私たちが受けた講演会のような食育についての知識を得る機会が少ないうえと感じました。だからこそ、今日の講演会を聞くことができ、正しい知識を得ることができて、すごくうれしいです。誰かのために気持ちをこめて料理を作った自分や友達、家族、また自分の子供など大切な人の健康を守る大人になりたいと心から思っています。食育が少なくていいことに感謝して楽しく料理をして人を幸せな気持ちにできるような料理を作っていきたいです。

今年度の講演会を受けて、私はいままで食事や食育に対する考えが変わりました。いまでは、食事は体をつくるためのものであるという認識が強くなり、食育に対しても残さず食べれば問題はないだろう、という軽いものではない。しかし、今回の講演の中で、食事は人の体をつくるだけでなく、心も豊かにするものなのだと気づきました。先生の話の中で、学生時代勉強にはげんだ結果、目標は達成したが、料理が

出来なくなりました。というのを聞いて、それでは勉強してきた意味がなくなってしまう。と思いました。勉強は私たちが基本の生活を営む上で必要なものに、自分の健康すらも守れない状態だからです。私の家庭は、基本的に自炊をする家庭で、小さな頃から親と一緒に料理を作ってきました。なので、今は自分で晩ごはんを作ることもあります。こういった習慣を作ってくれた親には感謝しなければならぬな。と思います。また、食事はある意味、大変思いのこもった手紙のようなものであるとも感じました。話の中で母親から唯一教えてもらったからしづの事を聞き、父がいつも作ってくれた玉子焼きを思い出しました。決してきれいな形ではないけれど、甘くてとても美味しい玉子焼きが私は大好きです。私自身、初めて挑戦した料理は玉子焼きで、焦げてしまったけれどとても美味しかった記憶があります。家族との思い出は全て覚えることは出来ないけれど、料理は伝えられるのだと思います。食事と食育は「人」を作り、思いを次へつなげていくことなのだと感じました。

一年一組 豊廣 ゆいな
この創立記念日講演会は、今年入学した私にとって初めてで、一週間前から「どんな話を聞けるのだろう」と考えていました。そして、体育館の演題を見て「食べものところろって、どんな関係があるのだろう」と思っていました。千葉先生のお話には、千葉先生の食に対する熱い思いと、奥深い内容、私たちに伝えたいことが、ぎゅっしりと詰まっていた。千葉先生のお話の中で出てきた「食の文化祭」での、ごまをのせたおにぎりを作って下さった方の話を聞いて、私は自分の祖母の話を思い出しました。祖母は、今年で81歳になります。祖母は、九人兄妹の七番目で、幼い頃は、満足にご飯を食べたことがなかったそうです。しかし、家族を支えるために夜遅くまで働いていた父と家事をしてくれる母のために兄妹全員で田んぼの手伝いをしていました。そして、とれるわずかな米をお話にあつたように、さつまいもなどを入れて炊いていました。食べ盛りだった兄たちは幼い妹たちに自分の分を分けてくれていたそうです。祖母は、この話をするとき必ず「ご飯は皆で分けあつて食べなさい。米の一粒にも誰かの思いがこもっているのを忘れずに食べなさい。」と言います。この言葉を聞いたときの私は、意味がよく分かりませんでした。この講演を通して、祖母が伝えたいことが分かったような気がしました。私も、今日の講演会で学んだことを大切に、生

るのだらう」と考えていました。そして、体育館の演題を見て「食べものところろって、どんな関係があるのだろう」と思っていました。千葉先生のお話には、千葉先生の食に対する熱い思いと、奥深い内容、私たちに伝えたいことが、ぎゅっしりと詰まっていた。千葉先生のお話の中で出てきた「食の文化祭」での、ごまをのせたおにぎりを作って下さった方の話を聞いて、私は自分の祖母の話を思い出しました。祖母は、今年で81歳になります。祖母は、九人兄妹の七番目で、幼い頃は、満足にご飯を食べたことがなかったそうです。しかし、家族を支えるために夜遅くまで働いていた父と家事をしてくれる母のために兄妹全員で田んぼの手伝いをしていました。そして、とれるわずかな米をお話にあつたように、さつまいもなどを入れて炊いていました。食べ盛りだった兄たちは幼い妹たちに自分の分を分けてくれていたそうです。祖母は、この話をするとき必ず「ご飯は皆で分けあつて食べなさい。米の一粒にも誰かの思いがこもっているのを忘れずに食べなさい。」と言います。この言葉を聞いたときの私は、意味がよく分かりませんでした。この講演を通して、祖母が伝えたいことが分かったような気がしました。私も、今日の講演会で学んだことを大切に、生

燃ゆる感動 風は南から
2023
燃ゆる感動
かごしま国体・かごしま大会
特別全国障害者スポーツ大会

燃ゆる感動 かごしま国体 空手道 10/8(日)~10(火) 総合運動公園総合体育館 (サンアリーナさんだい)	燃ゆる感動 かごしま国体 ホッケー 10/8(日)~12(木) 徳島県外人工芝競技場 丸山自然公園人工芝コート
燃ゆる感動 かごしま国体 ウエイトリフティング 10/12(木)~16(月) 入来総合運動場体育館	燃ゆる感動 かごしま国体 バスケットボール 10/12(木)~16(月) 総合運動公園総合体育館 (サンアリーナさんだい)

最後に
今回の講演で、在学生の皆さん先生方と接する機会をいただき本当にありがとうございます。また、どうぞ、これからもご健康で、自分の望む道を進んで行ってください。どこかでまた、お会いできたらうれしいです。

親は毎日仕事をして疲れているのに、ご飯を作ってくれて有難い。私は親が「ご飯を作るのは面倒くさい」と言った時には、その気持ちに共感して「じゃあ、作るの手伝うよ」と言ってあげようと思う。そして、自分が親になったときは、作ってあげられる人になりたいと思う。

今回、この講演のあと、生徒の皆さんが書いた感想をいただきました。その中で、1年生のある方の言葉に、私ははっとしました。



令和5年度
創立記念日講演会
感想文

三年六組 大楠 彩恵
今日の講演を聞いて食べることができることにちゃんと感謝したいと思いました。料理には色々な気持ちがかめられているのでちゃんと感謝をもって「いただきます」「ごちそうさま」を言えるような人になりたいです。私は高校を卒業した後は親のもとを離れて一人暮らしをする予定です。そんな私のために最近母は私に料理を覚えてくれるように教えてくれる意味が分かったような気がします。私は母の料理が大好きです。だからこそ、「母の味」を大切に一人暮らしを充実したものにして、料理によって自分の身体を守っていきたいです。千葉しのぶ先生が

二年一組 富山 慶次郎
今回の講演会を受けて、私はいままで食事や食育に対する考えが変わりました。いまでは、食事は体をつくるためのものであるという認識が強くなり、食育に対しても残さず食べれば問題はないだろう、という軽いものではない。しかし、今回の講演の中で、食事は人の体をつくるだけでなく、心も豊かにするものなのだと気づきました。先生の話の中で、学生時代勉強にはげんだ結果、目標は達成したが、料理が

一年一組 豊廣 ゆいな
この創立記念日講演会は、今年入学した私にとって初めてで、一週間前から「どんな話を聞けるのだろう」と考えていました。そして、体育館の演題を見て「食べものところろって、どんな関係があるのだろう」と思っていました。千葉先生のお話には、千葉先生の食に対する熱い思いと、奥深い内容、私たちに伝えたいことが、ぎゅっしりと詰まっていた。千葉先生のお話の中で出てきた「食の文化祭」での、ごまをのせたおにぎりを作って下さった方の話を聞いて、私は自分の祖母の話を思い出しました。祖母は、今年で81歳になります。祖母は、九人兄妹の七番目で、幼い頃は、満足にご飯を食べたことがなかったそうです。しかし、家族を支えるために夜遅くまで働いていた父と家事をしてくれる母のために兄妹全員で田んぼの手伝いをしていました。そして、とれるわずかな米をお話にあつたように、さつまいもなどを入れて炊いていました。食べ盛りだった兄たちは幼い妹たちに自分の分を分けてくれていたそうです。祖母は、この話をするとき必ず「ご飯は皆で分けあつて食べなさい。米の一粒にも誰かの思いがこもっているのを忘れずに食べなさい。」と言います。この言葉を聞いたときの私は、意味がよく分かりませんでした。この講演を通して、祖母が伝えたいことが分かったような気がしました。私も、今日の講演会で学んだことを大切に、生

るのだらう」と考えていました。そして、体育館の演題を見て「食べものところろって、どんな関係があるのだろう」と思っていました。千葉先生のお話には、千葉先生の食に対する熱い思いと、奥深い内容、私たちに伝えたいことが、ぎゅっしりと詰まっていた。千葉先生のお話の中で出てきた「食の文化祭」での、ごまをのせたおにぎりを作って下さった方の話を聞いて、私は自分の祖母の話を思い出しました。祖母は、今年で81歳になります。祖母は、九人兄妹の七番目で、幼い頃は、満足にご飯を食べたことがなかったそうです。しかし、家族を支えるために夜遅くまで働いていた父と家事をしてくれる母のために兄妹全員で田んぼの手伝いをしていました。そして、とれるわずかな米をお話にあつたように、さつまいもなどを入れて炊いていました。食べ盛りだった兄たちは幼い妹たちに自分の分を分けてくれていたそうです。祖母は、この話をするとき必ず「ご飯は皆で分けあつて食べなさい。米の一粒にも誰かの思いがこもっているのを忘れずに食べなさい。」と言います。この言葉を聞いたときの私は、意味がよく分かりませんでした。この講演を通して、祖母が伝えたいことが分かったような気がしました。私も、今日の講演会で学んだことを大切に、生



50年目の青春

1973年卒業アルバムより抜粋



31H



32H



33H



34H



35H



36H



37H



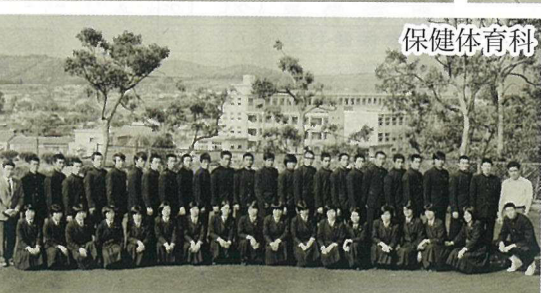
38H



39H



30H



保健体育科



第75回 卒業式

第75回卒業式に参加して

川内高校25期会 小田原 啓朗

卒業後50年の月日が流れ、私たち25期は母校川内高校第75回卒業式に招待されました。

当初、母校では二学期末にコロナ感染症による学年閉鎖などもあり、恒例である卒業50年の卒業式招待が予定通り出来るかどうかも懸念されていました。一月末に学校側から人数制限10人前後で招待したいとの連絡をいただきました。県内外からたくさんの方の参加希望もありましたが、各クラス幹事で調整し、最終的に代表14人で参列することが出来ました。コロナ禍のなか学校側のご配慮に心より感謝いたします。

当日の朝は同窓会館に集合後、体育館に入場しました。緊張感に満ちた卒業生の入場に始まり、卒業証書授与時の代表の堂々とした態度や答辞など、清々しく胸を打たれました。卒業式最後の校歌斉唱（紫尾の嶺を遙かに望み）は、三年生にとって全校生徒で歌う初めての経験だったことを後で耳にしました。今回の卒業生は、入学当初からマスク生活、授業・行事・部活動などがコロナ禍のため自粛や変更・制限のかかる中、三年間をコロナと共に過ごしてきた生徒たちです。思うように行事や部活動が出来ない状況の中、たくさ

んの葛藤があった事でしょう。旅立ちへの思いを胸に、退場していく二五六名の卒業生の姿に拍手しながら、「コロナに負けず、よく頑張った。これからも頑張れよ！」と心の中でエールを送りました。

なお、卒業生退場の前に卒業記念品贈呈式があり、私たちが募金した川高奨学会への寄付金（目録）を、25期会長の吉野君から荒田校長先生へ贈呈しました。生徒・職員・保護者から大きな拍手があり、たくさんの方の同級生の母校愛により多額の寄付が出来たことを、25期の一人として誇りに思いました。

式終了後、正門校舎前で写真撮影、同窓会館和室にて茶道部によるお茶の接待があり、役員や係の先生方とのふれあいも出来ました。その後、ホテルオトリで式に参加できなかった同級生数人も合流し、昼食会をしました。本来ならば、大人数での卒業50年の懇親会の予定でしたが、コロナ禍のため出来なかつたことが残念でした。その分来年の古希同窓会を盛り立てたいと思います。

二十五期会の活動

二十五期会会長 吉野 純一

昭和48年春に川内高校を卒業した五百名、早いもので五十年という月日が流れました。

振り返ると当時は、将来への不安を抱えながら、早朝からの補習授業など、どちらかと言えば苦しい三年間だったようにも思えます。卒業後は、それぞれの夢に向かって、進学や就職で旅立ちしましたが、今思えば高校時代に味わった多くの体験があったからこそ、半世紀にわたる長い人生を乗り越えられたとも思えますし、一方、当時、多大な迷惑をかけた恩師、先生方へは、同期生を代表して、お礼と感謝を申し上げます。

我々二十五期生は、現在、二十五を略して「ニコニコ会」という呼称をつけて、活動しています。

かつては、定期的に、あるいは不定期に、紆余曲折を経ながら、全体会の実施を維持してきましたが、残念ながら、恒例の「還暦同期会」は、開催できませんでした。こうした中、鹿児島市在住の女性幹事（世話役）の再編成を行い、鹿児島市で「還暦プラス一（いち）同窓会」を開催しました。

その後は、コロナ禍による休止期間もありましたが、毎年5月に、

地元川内と交互に全体会を開催してきており、県外からの参加もありなどにつながっています。

また、会を継続するために、規約を設け、これに基づく役員や幹事を配置し、さらに簡易なものです。ホームページも開設し、情報発信も行っています。（スマホ等で「川内高校25期」をWeb検索）

近年、巷では同窓会活動の停滞等を聞きますが、全体会は、同じ釜の飯を食った仲間が集う場、毎回、時を越えてすぐに打ち解け、大いに盛り上がり、さらに参加した同期生からは生きる力をもらうのが不思議です。

なお、卒業式参列に併せて展開した「奨学会への寄付金募金活動」においても、これまでの活動が功を奏し、目標を大きく上回る寄付金が集まり、賛同いただいた多くの同期生に対しては、この場を借りてお礼を申し上げます。

25期生もまもなく古希を迎え、不安もありますが、人生も百年と言われる昨今、可愛山同窓会の益々のご発展を祈念しますとともに、今後とも楽しみながら元氣よく活動しますのでよろしくお願いたします。

次回ご案内 第76回卒業式(令和6年3月1日)は高26期(S 49卒)・高51期(H 11卒)をご招待予定です。

進路指導部だより

進路指導主任 山口 潤一郎

二月二十八日、第七十五期生が川内高校を巣立ちました。コロナ禍で学校行事が中止されたり、実施できても制限を余儀なくされたりした三年間でしたが、それでもたくましく高校生活を送り、卒業式を迎えました。マスク着用ですが体育館に響く校歌、彼らにとって校内式典での最初の校歌、歌斉唱は感慨深いものがありました。

さて、今年度の受験。共通テストは三日目になりましたが、コロナ対応に加え、理科における科目間で二十点以上の平均点差が生じたため得点調整が行われるなどあり、受験生の中で今年も混乱がありました。そのような状況下でも生徒たちは冷静に各大学個別(二次)試験に気持ちを切り替え、特別対策授業に取り組みました。それと平行して、受験する学部に関連のある教科の教員が総力をかけて小論文と面接の指導を行いました。このような体制の中、生徒自身も最後の最後まで粘り強く取り組み、現役生は鹿児島大をはじめ、広島大、熊本大など百八名が国公立大に合格しました。熊本大は七年ぶりの二桁(十名)、私立大は日本大や東京理科大学などに合格、過年度卒業も負けずに鹿児島大(医歯を含む)、大阪大、早稲田大、明治大、同志社大などの有名大に合格しています。専門学校は、今年度も医療系が多く、就職は、鹿児島県警いちき串木野市役所、京セラ株式会社合格しました。

コロナ禍で過ごした三年間、様々な制約がありました。これまでの思い込みや縛りから解放されやすい環境だったと見ることもできます。今までの価値観だけではうまくいかない新時代、大切なものは何なのかを見落とさず、本校を卒業した生徒達は「文武両道 叡智を磨くわが母校」の精神のもと、変化し続ける社会に柔軟に対応し、貢献していくものと確信しています。

鹿児島県立川内高等学校

準 大 学 校	現 過 計
水 産	3 3
九 州 職 能	1 1
準 大 学 校 計	3 1 4

準 短 大 校	現 過 計
川 内 職 能	8 8
準 短 大 校 計	8 0 8

専 修 ・ 各 種 学 校 等	現 過 計
岩国医療センター附属看護学校	1
熊本労働看護専門学校	1
川内看護専門学校	4
神村学園専修学校	6
赤塚学園看護専門学校	1
福岡保健・スポーツ専門学校	1
福岡医療秘書専門学校	1
福岡医療秘書福祉専門学校	1
西日本医療教育専門学校	1
鹿児島医療技術専門学校	1
鹿児島県医療法人協会立看護専門学校	1
鹿児島歯科学院専門学校	1
今村ライセンスアカデミー	2
鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	6
農研機構農業技術研修	1
中日本航空専門学校	1
トヨタ神戸自動車大学校	1
麻生工科自動車大学校	1
日本化学分析専門学校	1
大村ファッション専門学校	1
九州デザインナー学院	1
ヒューマンアカデミー	1
赤塚学園美容・デザイン専門学校	1
麻生建築&デザイン専門学校	1
鹿児島工学院専門学校	2
福岡ECO動物海洋専門学校	1
宮崎ペットワールド専門学校	1
専 修 ・ 各 種 学 校 等 計	42

就 職 等	現 過 計
鹿 児 島 県 警 察	1
い ち き 串 木 野 市 役 所	1
京 セ ラ 株 式 会 社	4
就 職 等 計	6

令和5年3月 卒業生進路別合格状況

私 立 大 学	現 過 計
国際医療福祉	1 1
中 央	1 1
東 海	2 2
東 京 理 科	2 2
日 本 本 治	1 1
明 治	1 1
早 稲 田	1 1
神 奈 川	6 6
神 奈 川 工 科	1 1
浜 松 学 院	1 1
人 間 環 境	1 1
同 志 社	2 2
同 志 社 女 子	1 1
立 命 館	1 1 2
大 阪 産 業	1 1
大 阪 体 育	1 1
関 西 医 療	1 1
近 畿	2 2 4
神 戸 学 院	2 2
神 戸 芸 術 工 科	1 1
高 野 山	1 1
岡 山 理 科	2 2
ノートルダム清心女子	1 1
福 山	1 1
九州栄養福祉	1 1
九州 国際	1 1
九州 産 業	11 11
九州 情 報	1 1
九州 女 子	1 1
久 留 米	6 6
純 真 学 園	1 1
西南学院	9 9
第一薬科	1 1
中 村 学 園	4 4
福 岡	10 10
福 岡 工 業	8 1 9
福 岡 女 学 院	1 1
福 岡 看 護	2 2
福岡国際医療福祉	1 1
西 九 州	1 1
長 崎 国 際	2 2
九州看護福祉	2 2
熊本学園	2 2
熊本保健科学	7 7
尚 綱	1 1
崇 城	13 4 17
南 九 州	2 2
九州保健福祉	3 3
鹿児島国際	33 33
鹿児島純心	26 26
志 學 館	21 21
第 一 工 科	1 1
私 立 大 学 計	196 19 215

国 立 大 学	現 過 計
大 阪	1 1
島 根	1 1
広 島	3 3
山 口	2 2
九 州 工 業 育 成	1 1
福 岡 教 育	4 4
佐 賀	3 3
長 崎	2 2
熊 本	10 10
大 分	3 3
宮 崎	3 3
鹿 児 島	47 5 52
鹿 屋 体 育 球	1 1
琉 球	2 2
国 立 大 学 計	82 6 88

公 立 大 学	現 過 計
釧 路 公 立	1 1
福 知 山 公 立	1 1
神 戸 市 外 国 語	1 1
島 根 県 立	2 2
尾 道 市 立	2 2
下 関 市 立	8 8
高 知 工 科	1 1
北 九 州 市 立	4 4
長 崎 県 立	2 1 3
熊 本 県 立	3 3
宮 崎 県 立 看 護	1 1
名 桜	1 1
公 立 大 学 計	26 2 28
国 公 立 大 計	108 8 116

国 公 立 短 大	現 過 計
鹿 児 島 県 立	15 15
国 公 立 短 大 計	15 0 15

私 立 短 大	現 過 計
中 村 学 園	1 1
福 岡 女 子	1 1
宮 崎 学 園	1 1
鹿児島純心女子	2 2
鹿児島女子	8 8
私 立 短 大 計	13 0 13

ハッラッ 可愛山同窓会

各地区の同窓会の取り組みを取材形式でお知らせします。

東京可愛山同窓会

東京可愛山同窓会は6月3日に東京プリンスホテルで第55回総会・懇親会を開催いたします。4年ぶりの開催に少しばかりの戸惑いと大きな期待が交差しています。コロナ禍を経て、私たちを取り巻く環境は大きく変化しました。人と会うことが制限され、Zoom飲み会などオンライン化が進み、リアルで会うことの必要性についても考えさせられました。先だって、同窓会も賛助団体として所属している関東鹿児島県人会連合会の大会が開催され640名が集まりました。「やはりリアルで会いたい」「同郷の仲間と焼酎を呑んで語らい活かしたい」と、予定人数を大きく上回り早々に申し込みを締め切る事態になり、会は大盛況。その様子をみて、やはりリアルで集う必要性を実感いたしました。ただ、重たくなった腰はなかなか上がりません。休会していたこの期間で、これまで通りではないかないう課題も出てきています。それでも、この会の意義や目的を改めて明確にし、気持ちを新たに当会も再出発していきます。

同窓会サークル活動は、踊り

連「気強いやんせ連」が、5月28日の渋谷・鹿児島おはら祭りに参加予定です。グランプリを目指すべく練習のために集まっています。また、ゴルフ同好会「がらつぽGoGo会」も、5月22日にコンペを開催予定。その他、休眠中のサークル活動や同期会など徐々に進めてまいります。今後の活動については、HPで最新情報をご案内してまいります。
https://enoyama.jp/index.php/tokyo

阿久根ガラッパ会

阿久根ガラッパ会は、何らかの関係があれば地区外からも受け入れて活動している。また同窓会と言えど近い卒期ごとで塊がちであるが、不思議と誰彼となく交流を深め楽しんでいるのが自慢である。

特に戦中戦後の混乱期に学ばれた先輩たちの想像を絶する体験談等は、今も我々後輩の脳裏に鮮明に残り、学びの場ともなっていた。また同窓会に校歌は付きものであるが、あたかも旧川中と川高の歌合戦と化し、「どっちが元氣か」本気で競った(?)時もあった。時は流れ、威勢の良かった先輩

関西可愛山同窓会

今年の影も次第に薄れ、振り返れば今年度はガラッパ会設立62年目になる。昭和36年、母校愛に燃えた先輩たちが、あくねガラッパ会を立ち上げてくれたお蔭で現在まで繋いで来ている。しかし時を同じくして、学区制の導入で、阿久根は出水学区に。以後はその縛りを掻い潜って志願するしかなかったが、今は阿久根からの生徒も増え文武両道の素晴らしい活躍を知り、嬉しい限りである。62年前と同様、元氣な後輩たちが育つ事を夢見て、可愛山同窓生が参加しやすい場になればと願い、今年も出合いを楽しみにしている。

今年こそは関西可愛山同窓会の開催をと、コロナが下火に向かっているのを見計らって、新年早々から準備に取り掛かりました。経費削減の為に今回からメールでの案内をすることになっていいますが、開催が4年ぶりになるので登録されているメールアドレスが現在も使用されているかどうか、会員の状況を把握しなければなりません。確認のための一斉メールを配信し、アドレス不明、配信はされたが返信なし、を除いたら46名のアドレスが確定出来ました。

また、ほかの会員には往復はがきで案内を出すことになりましたが、それに併せてメールアドレスの登録もお願ひするので、今後は登録者が増えるものと期待しています。

福岡可愛山同窓会

現在、総会の準備幹事会が4月に開催されることになっており、6月11日(日)に「道頓堀ホテル」で関西可愛山同窓会が開催される予定です。可愛山同窓会報をご覧になって関西地区にお住いの方が居られましたらメールでの連絡もお願いします。kansai-enoyama@gmail.com 関西可愛山同窓会事務局

代表幹事 影山 裕樹

本年はコロナ禍により、休止してしまいましたが懇親会を昨年7月3日に3年ぶりに開催いたしました。未だ、感染者数も多い中、「みんな、来やっどかい?」と参加者数を心配しておりましたが、40名の参加を頂き、盛会の下に実施することができました。

懇親会後の2次会には若手のみならず、古希を過ぎられた先輩方も多数、参加頂きまして、大いに盛り上がりつつ1日となりました。2次会の席での某先輩の、まるで学生コンパのようなハッスルぶりを思い出しながら、この原稿を書いています。故郷を離れて遠方になりが心気許せる間柄になるのかなと感じました。又、総会の冒頭では、この3年間の物故会員に黙禱を捧げました。総会直前の7月1日に急逝された福留久大先輩(福岡可愛山同窓会第5代会長)は著名な経済学者で

熊本可愛山同窓会

あるとともに薩摩川内会の初代会長を務められ、同窓会並びに薩摩川内市の発展に貢献されてこられました。最後に、福岡可愛山同窓会が創立50周年を記念して制定しました、「文武両道取組み日本一奨励金」につきましては、本年度は吹奏楽部と弓道部に贈呈いたしました。これからは母校の発展と同窓会員の親睦に努めて活動してまいります。

幹事 宮田 和正

熊本可愛山同窓会は、昨年12月4日(日曜日)、「鼎盛豊」にて3年ぶりに総会を開催いたしました。本会開催については、コロナ再流行の時期で開催するか大変悩みましたが、小井手清一会長と相談し、開催することとしました。本会へは同窓会本部より、下委同窓会会長、荒田校長、中俣前会長にもご出席いただき、また、久しぶりに同窓の方々にお会いし、楽しく語らう時間を過ごすことができ、開催してよかったと思っております。

同窓会の楽しさを、もって若い人にも経験してほしいと、毎年学生(専門学校も含め)の会費を千円として参加を呼び掛けておりますが、なかなか参加していただけない状況です。今後は、SNS等を利用した参加者増加対策も検討予定です。今年の総会は、11月最終日曜日(場所は未定)開催予定です。

鹿児島可愛山同窓会

会長 石走 一行 (高17期)



す。熊本在住の同窓の方をご存じでしたらお声をおかけいただければ幸いです。

鹿児島可愛山同窓会は、鹿児島市近郊の同窓生を中心に、旧交を温めています。

これまで、二年ごとに総会・懇親会を開催してきましたが、平成三十年の開催を最後に、開催を見送っている状況です。

その間、長年にわたり交流の場となっていた会場が閉店するなど、ここ数年で取り巻く環境も変化し、新たな課題にも直面しています。

これまで、二年ごとの総会・懇親会では、母校から、校長先生をはじめ同窓生である現職の教職員の方々、また、本部同窓会の役員の方々、また、本部同窓会の役員の方々に御出席いただき、母校や川内の最新の話題を御提供いただき、ともに、同窓生による講話や、懇親会では、「盛り上げ隊」による企画などにより、満足いただける会に努めてきたところです。

本部可愛山同窓会

今回の開催については、今後の状況を見極めての判断となりますが、開催の際には、多くの方々にお楽しみいただける会にしたいと思っております。

コロナ禍にあり開催も危ぶまれましたが、実行委員会や各期幹事のご尽力により昨年8月6日に3年ぶりの総会を無事開催することができました。各支部へのご案内も県内のみに留め、また各期4名までと人数制限をかけての総会案内のため、参加人数68名での開催となりました。

役員改選におきましては、長年ご尽力いただいた中俣会長に替わり下妻昭一新会長が選出され、また新たに岸上久美子副会長もお迎えしての体制となりました。引き続き行われた懇親会では、恒例の抽選会は感染防止・時間短縮のため中止となり少し寂しくもありましたが、久しぶりに対面での会員間の交流ができました。



令和5年度の総会は、是非とも通常開催となります。折念いたします。

ダンス部



行っています。高校から柔道をはじめ人もトレーニンングや内容を工夫して安全に練習できるようにしています。

また、挨拶をきちんとすることや、きつい練習の時には互いに応援し合うなどチーム内の声かけを大事にして、明るく楽しく活動ができるよう心がけています。

これからも指導して下さる先生方やお世話になっていらっしゃる先輩、応援してくれる保護者の皆様、そしてともに高みを目指す仲間感謝の心を忘れることなく、柔道の精神である「精力善用・自他共栄」を体現できるように努力していきたいです。今後とも応援をよろしくお願い申し上げます。

私たちダンス部は、3年生9人、2年生14人で、トレーニンングセンターで、毎日楽しく元気に活動しています。ガールズ、ジャズ、ヒップホップ、ブレイキンの4つのジャンルに分かれて、自分たちで一から振り付けを作り、昼休み



の校内発表会や文化祭での発表を行っています。また、年2回行われる県大会では、テーマや構成についてそれぞれ意見を出し合い、音源編集や振り作りをして、みんなで1つの作品を完成させ発表しています。

ダンス部はジャンルリーダーが中心となっており、お互いに改善すべき点を指摘し合い、切磋琢磨している部活動です。いざ本番を迎え、舞台上に立った時の達成感は格別で、みんな笑顔で最高に楽しんでいきます。

現在は新型コロナウイルス感染症も収まってきて、地域のイベントへの参加も少しずつ増えてきました。今後とも発表の場が増えることを願っています。今年は鹿児島国体の開会式でも、他の学校と合同で演技を行うことになっています。観てくださる方々に楽しんでいただけるようなステージがしたいと思っております。これからもご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

文武両道 英知を磨く 頑張る部活

サッカー

私たちサッカー部は、24名の3年生が引退した後、2年生6名、1年生15名、マネージャー2名の計23名で活動しています。

私たちは、県ベスト8を目標として活動しています。川内高校は文武両道取組日本一を掲げる学校であるため、平日の練習時間は長くありません。しかし、限られた時間の中で選手一人一人が高い意識を持ち、強度の高い練習を行っています。

昨年度から、新型コロナウイルス感染症の影響による大会等の制限が徐々に緩和されてきました。

ですが、先輩方は3年間満足したサッカー生活を送ることはできなかったと思います。その先輩方の想いも背負って、5月に行われる高校総体で結果を残せるよう全力で頑張ります。

私たちの最後の大会まで残り2ヶ月を切りました。これまで私たちが最高の環境でサッカーができてきたのは、普段指導してくださる先生方、応援してくださる保護

文芸部

部長 福島 嘉津穂

私たち文芸部は現在、四階校舎の四階にある文芸部室で、三年生四名、二年生二名の計八名で活動しています。活動時間は、月曜日の放課後のみで、作品製作はそれぞれのペースで行っています。毎年、文化祭号と冬号の二回に分けて部誌を発行することを目標に活動しています。

部誌を作るに当たっては、先輩たちから教わった製本の方法や構成の仕方を受け継ぎつつも、より読者が楽しめるような工夫ができるように試行錯誤しています。また、兼部をしている部員が多いのも文芸部の特徴です。それを活かして、部誌に戯曲を掲載したり、絵画を題材にした作品を制作したりするなど、様々な切り口から文芸に取り組み活動を考えています。

文芸部では、昨年から県大会への作品の出品を行っており、初めての取り組みにも関わらず、二名の部員がそれぞれ、散文部門の優秀賞と詩部門の最優秀賞を受賞し、令和4年度の九州大会、令和5年度の全国高等学校総合文化祭(かごしま総文)への出場を決めました。現在、この夏に行われるかごしま総文に向けての作品作りを頑張っています。

文芸部の目標は、部員それぞれが楽しみながら自分の好きな作品に打ち込める部活動にしたいです。今度もそれぞれ個性輝く作品を讀者の皆さんに届けられるように精進していきたいと思っております。応援よろしくおねがいします！

者や地域の方々、そしてOB会の方々ののおかげです。これからの感謝の気持ちを忘れず、多くの方々を喜ばせるために、結果を残せるよう頑張っていくので、今後も応援よろしくお願いたします。



女子バスケットボール部

主将 十島 菜々美

私たち女子バスケットボール部は、二年生九名、一年生七名、マネージャー四名、計二十名で活動しています。顧問の安樂先生、上村先生のご指導のもと、日々練習に励んでいます。

私たちは、県ベスト4を目指して練習しています。安樂先生が教えてくださいました「走るバスケット」だけでなく「考えるバスケット」をモットーにするバスケットで、強豪校に身体能力で勝つことができな自分、文武両道を掲げている川内高校生として頭を使い、カバーできるようにしています。

二年前に県ベスト4に入ることができ、素晴らしい経験と、もう一度この舞台でバスケットをプレイし

たいという気持ちを持ちました。去年のインターハイ予選大会は惜しくもベスト4を逃してしまいましたが、その日の悔しさは今でも忘れられません。先輩に託された「ベスト4」に必ず入るために、保護者の皆さん、先生方、地域の方々への感謝を忘れずに、これからも日々の練習をチーム一丸となつて頑張りたいと思



柔道部

柔道部は現在、3年生2名、2年生3名の計5名で、顧問の中村先生、米満先生のご指導の下、日々練習に取り組んでいます。

平日の練習時間は1時間半から2時間程度ですが、基本的なことを中心に行い、休日はそれに加えて実践的な練習や自分の課題点を改善するような練習に取り組んでいます。また、長期休み等には合同練習に参加し、試合に勝つことを意識した取り組みをしています。

その中で他校の生徒とも親しくなり、ともに柔道を志す仲間作りができています。

現在は部員が少なく、実践練習が減ってしまうことがありますが、その分は自主練習を行うなど1回の練習時間を効率よく集中して

第47回 全国高等学校総合文化祭 (2023かごしま総文) 開催期間 7/29(土)→8/4(金)



茶道部

私たち茶道部は、三年生7名、二年生3名、計10名です。可愛山会館2階で活動しています。外部講師の川畑先生は、川内高校の卒業生であり、週2回のお稽古は優しく、解りやすく、長年ご指導していただいています。顧問は中川先生と笠毛先生です。

日頃、お点前や作法を学び、お茶会を通して日々の練習の成果を披露することが主な活動内容です。コロナ禍で思うような活動ができず寂しい気持ちでございましたが、新しい試みとして、卒業式に部活動の先輩方をもてなすために実施していた卒業茶会に、日頃活動場所をお借りしている感謝の気持ち

を表したく、卒業式にご参加いただいた同窓会の先輩方を令和3年度からお茶会に招待できるようにになりました。私たちが点てたお茶をととても楽しそうに飲んでいただき、部員一同心から喜んでいきます。また、平佐憲を復活された井上真之さんより、今年1月に卒業50年を記念して、作品の茶器を贈呈していただき、卒業茶会で使わせていただきました。今後卒業茶会を続けていけたらと考えています。今年は、全国高等学校総合文化祭が鹿児島県で開催されます。ここ数年思うような活動ができませんでしたが、今年文化祭を皮切りに新入部員と共に茶道のおもてなしの心を伝えていきたいと思います。

OBゴルフ大会

恒例のOBゴルフ大会が令和5年4月29日(昭和の日)に市比野グリーンヒルカントリークラブで、開催されました。令和元年以来、4年ぶりの待ちに待った開催となりました。



▲20期の方々

当日のエントリーは県内外から63組230名が参加。前回同様、朝からの雨で途中激しく降られましたが、持ち前の川高魂で参加者全員最終ホールまで回りきりました。

団体戦・個人戦の結果は、次の通りです。

優勝 24期 橋元 巧、下八尻宏二、田中公博 他11名
準優勝 18期 第3位 45期 第4位 29期 第5位 26期

個人戦 優勝 橋元 巧(24期)
準優勝 山口 定信(18期) 第3位 山口 知之(45期)
第4位 下八尻 宏二(24期) 第5位 桑原 宏志(34期)

ご寄付ありがとうございました。

川内高校奨学会への寄付一覧【令和4年4月1日～令和5年3月31日まで】

寄付者氏名	金額
創立記念講師 木佐貫 洋氏(高51期)	100,000
奨学会支援有志(匿名)	300,000
三稜会鹿児島支部(高3期)	30,000
奨学会支援有志(匿名)	200,000
高11期同窓会	100,000
坂元 勝則氏(高3期)	10,000
高25期卒業後50年寄付	3,100,000

合計3,840,000

◆令和5年度奨学生

今年度の奨学生を5月11日開催の川内高校奨学会役員会で3年生6名、2年生5名決定しました。1年生は学内選考会を経て9月の役員会で決定し、奨学金の支給を行います。

◆令和4年度3月卒業奨学生の進路先

この春卒業した奨学生の進学先は、広島大学・熊本大学・熊本保健科学大学・鹿児島大学・鹿児島国際大学・琉球大学

可愛山同窓会本部・各支部役員名簿

令和5年5月

可愛山同窓会本部 0996-20-2031 (FAX 兼用)		
会長	下 麥 昭 一	高30期
副会長	橋 口 知 章	高26期
〃	愛 川 清	高31期
〃	小田原 浩	高32期
〃	羽 田 美由紀	高33期
〃	岸 上 久美子	高46期
監 事	坂ノ上 四 雄	高31期
〃	川 原 典 隆	高45期
書 記	森 園 健 太	高54期
会 計	鯉 坂 郁 代	川高事務室
顧 問	中 俣 知 大	高20期
相 談 役	山 田 島 稔	高17期
事務局長	鶴 永 ひとみ	高32期

TEL (FAX 兼用) 0996-20-2031
 E-mail: s-enoyama@sgr.bbq.jp

東京可愛山同窓会		
会長	桐原 保 法	高17期
副会長	久保 信 行	高10期
〃	徳 丸 律	高21期
〃	渡 邊 泰 久	高26期
〃	久留須 泰 朗	高30期
幹 事 長	柏 田 かおる	高40期
副幹事長	石 上 聡 子	高31期
〃	宇 都 正 信	高44期
〃	入 角 英 樹	高46期
〃	八 嶋 香 織	高46期
〃	吉 永 美 紀	高48期
〃	山 田 大 祐	高64期
会 計	福 山 伸 一	高24期
〃	植 村 健 二	高28期
監 査	山 下 重 孝	高22期
〃	東 郷 順 三	高24期

※柏田かおる (090-7949-8038)

熊本可愛山同窓会		
会長	小井手 清 一	高17期
代表幹事	宮 田 和 正	高28期
会 計	鶴 殿 暁 子	高43期

※宮田 和正 (096-343-2389)

宮崎可愛山同窓会		
会長	浜 田 澄 麿	高10期
副会長	川 野 融	高18期
事務局	村 田 誠	高24期

※浜田 澄麿 (090-1513-5449)

福岡可愛山同窓会		
会長	牧 田 隆	高20期
副会長	井 上 哲	高20期
〃	寺 脇 之 博	高34期
代表幹事	影 山 裕 樹	高31期
副代表幹事	羽 子 田 政 則	高40期
〃	田 中 慎 太 郎	高41期
幹 事	紙 屋 まり子	高24期
〃	高 柳 健 一	高24期
〃	角 勤 子	高29期
〃	鈴 木 徳 之	高33期
〃	竹 田 大 作	高43期
〃	奥 大 一 郎	高48期
〃	小 西 渚	高60期
監 事	園 林 龍 二	高17期
代表顧問	新 留 育 郎	高17期
顧 問	香 月 揚 子	高11期
〃	泰 平 尚 信	高13期
〃	西 谷 和 武	高14期
〃	上 西 治 志	高17期
〃	寺 地 明 子	高18期

※新留 育郎 (090-5472-4881)
 ※影山 裕樹 (090-9795-6896)

阿久根ガラッパ会		
会長	折 田 康 彦	高3期
世話役	林 勝 次 郎	高17期

※林 勝次郎 (0996-72-2075)

鹿児島可愛山同窓会		
会長	石 走 一 行	高17期
副会長	武 田 恭 孝	高14期
〃	斎 藤 義 久	高19期
〃	西 村 眞 理	高19期
〃	後 藤 孝 行	高20期
〃	堀之内 隆	高22期
〃	愛 甲 涼 子	高23期
〃	吉 野 純 一	高25期
〃	川 畑 洋 一	高27期
顧 問	上 小 鶴 貞 子	高女28期
〃	橋 本 幸 雄	高3期
〃	安 樂 満 男	高12期
〃	小 島 政 利	高14期
事務局長(兼務)	原 口 義 明	高35期

※平石 征志 (090-9561-6587)

県庁可愛山会		
会長	大 園 茂 生	高33期
副会長	原 口 義 明	高35期
〃	上 村 清 志	高33期
幹 事 長	鍋 田 慶 一 郎	高36期
幹 事	平 石 征 志	高38期
〃	森 能 実	高40期
〃	古 屋 美 咲	高47期
〃(書記)	徳 重 朋 幸	高52期
〃	廣 瀬 泰 孝	高52期
〃	松 下 一 步	高63期
会 計	福 重 由 香	高43期

※徳重 朋幸 (原子力安全対策課 099-286-2377)

編集後記

事務局を引き継ぎ、早1年が過ぎましたがまだまだ不慣れなことばかりです。今回、原稿をお寄せ下さいました皆様をはじめ印刷会社の担当の方々のお陰をもちまして、会報58号を無事、会員の皆様にお届けすることができました。

今年度は、新型コロナウイルス流行以前の生活に戻り、可愛山同窓会の活動も制限なく行えると思います。また、各地の楽しいニュースもお聞かせください。今後ともよろしくお願いたします。

(可愛山同窓会事務局長
 鶴永ひとみ 川高32期)

現在の同窓職員

令和5年4月1日現在

校務補助	西田 一彦 (高26期)
外国語	上床 敦 (高26期)
校務補助	上村 里美 (高28期)
事務主事	上馬場 安弘 (高30期)
寮 監	野沢 伸一郎 (高32期)
事務補助	手打 聖香 (高35期)
理科	吉留 太郎 (高48期)
保健体育	森園 健太 (高54期)